

報道機関 各位

記者発表資料

平成19年3月22日(木)

問い合わせ先：警防課

担当：小 山

電話：833-7944

内線：5611

特別高度救助隊「さいたまブレイブハート」を創設します

さいたま市では、大規模な震災や化学テロ災害、列車脱線事故などの特殊な災害に対して、救助活動体制の充実強化を図り、市民生活の安心安全を確保するため、特別高度救助隊「さいたまブレイブハート」を4月1日に創設します。

なお、「さいたまブレイブハート」は、特別高度救助隊の愛称であり、一般公募の中から採用したものです。

1 目的

新潟県中越地震やJR西日本列車脱線事故などの大規模な災害や事故の発生を教訓として、救助活動の重要性が改めて認識されているため、高度な技術を兼ね備えた救助隊員を養成していくとともに、特殊な救助資機材を装備した「特別高度救助隊」を創設するものです。

2 特別高度救助隊の概要

- (1) 大宮消防署及び浦和消防署に特別高度救助隊を配備
- (2) 特別高度救助隊は、救助工作車に、画像探索機、電磁波探査装置、地震警報器などの高度救助用資機材を装備
- (3) 化学テロ災害発生時には、北消防署に配備している「特殊災害対応部隊」と連携して活動し、被害の軽減を図る。
- (4) 多数の人命救助を要する困難な災害現場において、消防部隊の中心となって活動する精鋭部隊を目指している。

3 特別高度救助隊創設の効果

- (1) 大規模災害及び特殊災害に対応する高度な救助技術と資機材を備えた、特別高度救助隊の配備により、消防活動体制が強化され、市民生活の安心・安全に寄与
- (2) 特に、鉄道の結節点及び高速道路網の発達により危惧される都市型災害における被害の大幅な軽減
- (3) 政令指定都市としての役割を踏まえた、緊急消防援助隊などの広域消防応援の一層の充実・強化に寄与

4 愛称の公表

新たに創設する「特別高度救助隊」を、多くの方々に身近に感じていただくともに、消防に対する、より一層の理解を深めていただくための愛称を一般公募にて募集していたところ、「1,086作品」の応募があり、選考委員会による審査を経て、愛称を決定したものです。

(1) 応募作品数 1,086作品（市内 426作品・県内 94作品・県外 566作品）

(2) 採用作品名 「ブレイブハート」 中央区に在住の杉山 響子さんの作品

(3) 作品の説明

市民のために勇敢な心を持って活動する。

(4) 入賞者の公表

採用作品を含めて入賞作品を6作品決定しており、当該入賞作品については、3月中に市のホームページで公表させていただきます。